

## 令和2年度 職員（学級担任）自己評価シート（前期）

行動指針に対する状況を記入します。（1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)）

| 行動指針   |   | 評価の平均値                 |
|--|---|------------------------|
| <b>1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実</b>  |   | <b>評価点の計 22.3/35</b>   |
| 1  | 園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。   | 2.9                    |
| 2  | 学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。   | 2.8                    |
| 3  | 一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。  | 3                      |
| 4  | 幼児の主體的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。   | 2.9                    |
| 5  | 学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。   | 3.8                    |
| 6  | 室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。   | 3.4                    |
| 7  | 保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案し、実践する。                                     | 3.5                    |
| <b>2 教育・保育の質の向上</b>  |   | <b>評価点の計 25.5/50</b>   |
| 1  | 園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。   | 2.7                    |
| 2  | 相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。   | 2.2                    |
| 3  | 週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。   | 3                      |
| 4  | 研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。  | 2.5                    |
| 5  | 幼児の自発的な活動を促す環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。   | 2.5                    |
| 6  | 保幼小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。   | 2.1                    |
| 7  | 小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。 | 2.1                    |
| 8  | 必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。  | 2.7                    |
| 9  | 職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。   | 2.9                    |
| 10   | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。  | 2.8                    |
| <b>3 子育ての支援の充実</b>   |   | <b>評価点の計 21.6/35</b>   |
| 1  | 家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。   | 3                      |
| 2  | クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。                           | 3.5                    |
| 3  | 学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。  | 2                      |
| 4  | 日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。  | 3.1                    |
| 5  | 事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。   | 3                      |
| 6  | 不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防につき手、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。                  | 3                      |
| 7  | 家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用                       | 4                      |
| 【取組状況に関するコメント】   |   | <b>評価点の合計 69.4/120</b> |
| <p>○今年度、前半は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、登園自粛などもあり思うような取り組みが出来ていない。</p> <p>○職員間の資質向上の為、園内研修（保育参観）を行い、保育の方向性やこどもの育ちの確認をしていけるようにしていきたい。</p> <p>○朝の登園時間を園児や保護者と再確認をしていく。（登園時間が遅い家庭があり、就学に向けて意識付けをする）</p> <p>○さん付け呼名、あいさつ、返礼指導や、「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的な生活習慣の取り組みについても、各クラス確認し取り組んでいけるようにしていきたい。</p> <p>○支援を要するこども達への配慮や個別指導の作成等はすぐ行い連携して取り組む事が出来た。</p> |   |                        |